

俳句 大津俳句会

参道は銀杏紅葉の絨毯に

井芹眞一郎

群れだちてねぐらへ急ぐ冬の鳥

相原 朋子

玄関の壺いっぱいに草の花

一上日登美

地震あり炬燵を出してもぐり込む

大塚喜久子

ありあまる程の小春日続きけり

岡崎 浩子

新春の流鏑馬世界の悪を射よ

香月のり子

友来たる話止まらず秋日和

佐賀 久子

追ひつけぬ時の流れや師走来し

佐澤 俊子

深耶馬の日暮れの早き紅葉谷

上杉 波

初明かり勾玉つるり夢ばかり

俳句 つのはな句会

友からの絵手紙ほっこり福寿草

矢嶋 道子

地平線明るく照らす初茜

梅木トキエ

年の暮ニ両電車に客二人

塚本 洋子

ほどほどの未来を買うや福袋

塚田しのぶ

従軍碑父の名も褪せ開戦日

村田 健二

仏前に夫は立ちて手を合わす座れば立つのが難しくなりて

志賀 孝子

雷の音に怯える犬の小太郎が我が胸ぐらへはい登りくる

田上 公代

若水を汲んであつまる今朝の善

高村 泰子

あるけた、動ける足を動かして晴天見上げ冬まじかの日

吉田 良子

あかあかと熟して、けど採らぬまま庭に落ちたり柿の実三つ

本田 咲

ご長寿の表彰うけし飼い犬に引かれながらに歩く畔道

田中 玲子

庭に咲き風にさゆらぐコスモスは朝のひかりに鮮しく見ゆ

豊岡ミツル

短歌 大津短歌会・野づかさ

指導 阿木津 英

迷いなく反戦演劇貫て生終わりけり仲代達矢

小平 善行

うす紅の花咲かしめて川岸に風に搖らぐも合歡の古木は

吉永 恵子

早朝にまづすませたる拭き掃除床踏む足のこのここち良さ

坂本 皋子

海上の湯島にむかひて立つ地蔵右手に白い十字架をもつ

鞍 岳志

仏前に夫は立ちて手を合わす座れば立つのが難しくなりて

山本 泰子

雷の音に怯える犬の小太郎が我が胸ぐらへはい登りくる

高村 泰子

あるけた、動ける足を動かして晴天見上げ冬まじかの日

吉田 良子

あかあかと熟して、けど採らぬまま庭に落ちたり柿の実三つ

本田 咲

ご長寿の表彰うけし飼い犬に引かれながらに歩く畔道

田中 玲子

庭に咲き風にさゆらぐコスモスは朝のひかりに鮮しく見ゆ

豊岡ミツル